

「トレパチダーツ」

～遊び方～



■ 「トレパチダーツ」とは？

「ビリヤード」と並ぶ室内スポーツの代表格「ダーツ」はイギリスが発祥であり、ワイン樽めがけて矢を放っていたものが木の輪切りを経て現在の形となり、木の年輪やひびなどが得点システムの基礎となったと言われています。

◎ トレパチカードの「五十音」機能を使用した、“オリジナル” ダーツを楽しんでいただいてはいかがでしょうか？

▽ 集団レクリエーションの一つとして、複数名やチーム対抗で競い合うゲームです

▽ 1 か月ごとにダーツシートの内容が更新され、文字の並びや得点が変更されます

【遊び方】

① 「今月のダーツシート」と「得点表」を用意し、遊技ラウンド数を設定します

- 「今月のダーツシート」と「得点表」は、ファイルを弊社公式サイトよりダウンロードし、プリントアウトして使用して下さい
- 施設様や利用者様のご事情に合わせ、予め遊技ラウンド数を定めておきます ※ ラウンド数の設定例については4ページを参照

② トレパチを遊技して大当たりを獲得し、出てきたカードに書かれた文字を確認します

③ 「ダーツシート」で②の文字に対応した点数を確認し、「得点表」に記入していきます

- ※ 「ダーツシート」の内訳および「得点表」への記入方法については5ページを参照

④ ①で設定した全てのラウンドが終了したら、点数が高い順に「優勝」・「準優勝」などの該当者を決定します

- 各受賞者の決定後には表彰式を行い、表彰状・トロフィー・記念品などを授与します
- 「表彰状」は、ファイルを弊社公式サイトよりダウンロードし、プリントアウトして使用して下さい
- 「記念品」はお好みでOK、「トロフィー」は百貨店で購入することが可能です

⑤ 「順位表」を作成して壁などに貼り出して、さらに盛り上げましょう

- 「順位表」はファイルを弊社公式サイトよりダウンロードし、プリントアウトして使用して下さい

【ラウンド数の設定例】

○ 1 ラウンドにつき、トレパチで3回の大当りが必要です

☆ 「らくらくコース」(設定ラウンド数= 1)

→ トレパチを「3回」大当りさせて、合計得点を競います(想定所要日数:1日程度)

☆ 「集中コース」(設定ラウンド数= 2 or 3)

→ トレパチを「6回」もしくは「9回」大当りさせて、合計得点を競います(想定所要日数:1週間程度)

☆ 「おすすめコース」(設定ラウンド数= 4)

→ 1週間につきトレパチを「3回」大当りさせ、4週間で4ラウンドの合計得点を競います(想定所要日数:1ヶ月間程度)

☆ 「本格チャレンジコース」(設定ラウンド数= 8)

→ トレパチを「24回」大当りさせて、合計得点を競います

→ 本物のダーツと同じく8ラウンド制で、「トレパチダーツ・○○○カップ」として大会を開催するという方法もあります

【「ダーツシート」の内訳】

	場所	点数	文字
「お宝」	真ん中(インナーブル)	1000 点	「ALL」
「ベスト」	二つ目の輪(アウトーブル)	500 点	月ごとに変更
「天国か地獄」	三つ目の輪	外周の点数の 2 倍もしくは -2 倍	月ごとに変更
「そのまんま」	四つ目の輪	外周の点数	月ごとに変更
「はずれ」	輪の外側(アウトボード)	-1000 点	月ごとに変更

【「得点表」の記入方法】

- ・ 1 ラウンドにつき “3 投” (大当たり 3 回＝カード 3 枚)、はずれ文字も “1 投” とカウントします
- ・ “1 投” ごとに点数を記入していき、得点を計算します (可能な限り、計算は利用者様ご自身にお願いして下さい)
- ・ 試行回数が “3 投” に満たない場合は、“1 投” もしくは “2 投” の点数の合計が得点となります (“3 投” より不利となります)
- ・ トレパチを遊技されない方や、何らかの事情により試行回数を満たすことが出来ない方については、トレパチの大当たりを経由せず「カードを引いてもらう」という方法もあります